私たちに今できることは何か？　～子や孫の世代のこれからの淡路市のために～

2024年5月吉日 発行　6号

戸田あつひろ活動報告

戸田敦大(とだ あつひろ)
昭和60年6月24日生まれ(38歳)

ご挨拶

皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。淡路市議会議員の役をお預かりして3年が経とうとしています。今まで以上に市民の目線に立った活動で皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

「市内に放課後デイが少ない!!」の声を届けます。

障がい児通所支援は主に施設などへ通って、日常生活における基本的な動作の指導や、生活能力の向上のために必要な訓練、知識技能の付与、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。
支援施設は支援内容により大きく2つに分けられます。

児童発達支援事業所
0歳から小学校入学前までの未就学児に対し地域での発達支援を提供している施設。

放課後等デイサービス
6歳から18歳までの就学児を対象に学齢期に見合った支援を行う施設。

島内の支援施設の配置

これらの施設が本市では少なく、他市の施設まで通っている方がが多くいらっしゃいます。こうした方は共働きも難しく、経済的にも苦しい生活を余儀なくされるケースもあります。

こうした状況下においても市の答弁は「全体として需要に対して不足なくサービスを提供できており、総量規制を踏まえた上で必要量を確保していく。また、淡路島全体で捉えていくことであり限定的な地域で政策を打つということは流れに沿っていない。」というものでした。

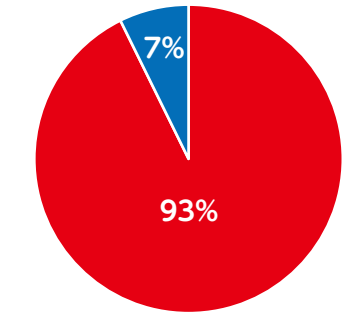
しかし、不運を不幸に変えないことが政治の役割であり、全ての人が等しく幸せになる権利があります。こうした方々にこそ政治の力で支援を行うべきだと考えます。

施設の種類	淡路市	洲本市	南あわじ市
児童発達支援事業所	1件	7件	2件
放課後等デイサービス	2件	8件	5件

「女子だってスラックスを選びたい!」の声を実現します!

「女子中学生制服のスラックス選択制」について令和４年度１２月定例会で提起しました。これにおける現在の市の対応や進捗について今回の定例会にて再度問いました。前回の一般質問では私がアンケートを実施した内容を基に執行部に対して問いましたが、その一部を下記に抜粋いたします。

中学校でのスカートの着用についてどのように思われますか。(96件の回答)



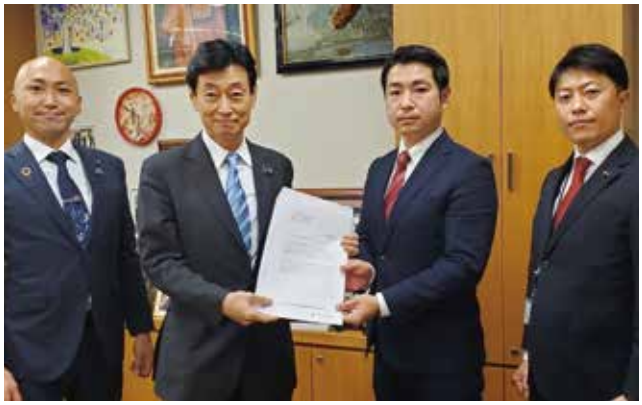
スラックス選択制を導入する理由(複数回答 可)

理　由	件　数
冬は寒いから	56
動きやすいから	55
「女子=スカート」の考えは古いから	47
防犯上の観点から	42
普段からスカートを着用しない	15
可愛いから	7
その他(「個人の好みによる」「自由に選びたい」等)	9

今回の一般質問で一部の中学校で令和7年4月の入学生から新制服の導入が予定されており、その他の中学校においても検討委員会や地域の衣料組合での協議がされているとの回答がありました。

「通学費用がバカにならない!」の声を届けます。

パールブリッジリターン助成事業として、大学や専門学校に通う際の通学助成を行っていますが、昨今の人件費や燃料費の高騰に伴い通学代も上がっている中、補助上限額の増額を求めました。また、令和6年度から高校生通学助成事業として、市内の高校に通う際のあわ神あわ姫バスの通学定期代が無料となる他、市外の高校に通う際にも最大5万円の補助を受けることができます。



国や県、市に各種要望を出させていただきました!

自己紹介

戸田敦大(とだ あつひろ)
昭和60年6月24日生まれ(38歳)
岩屋中学校、明石高校、甲南大学経営学部 卒業

略　歴

2008年 ゼブラ株式会社 入社
営業として名古屋支店勤務。主に北陸地方を担当する。地方と都市部の格差や、地方の疲弊を目の当たりにし、淡路市へ帰ることを決意する。
2010年 淡路砿油株式会社 入社
2021年 淡路市議会議員選挙 初当選
2022年 産業厚生常任委員会副委員長
会派「結の会」所属
2023年 総務文教常任委員会副委員長

淡路市議会議員
戸田(とだ)　敦大(あつひろ)
携　帯:090-6913-7785
事務所:〒656-2401 兵庫県淡路市岩屋1414-1
MAIL:toda-atsuhiro624@all-impulse.com
TODA.ATSUHIRO
facebook

こちらのQRコードからも皆さまのご意見ご要望をお聞かせ下さい!